

# Influenza virus Primer/Probe Mix

Code No. RC500A

容量： 50 回  
(25  $\mu$ l 反応系)

## ● 内容

● Flu Primer/Probe Mix 10 $\times$  125  $\mu$ l

## ● 検出対象遺伝子とプローブ標識

検出対象遺伝子	プローブ標識
インフルエンザウイルス A 型 (FluA) M1 遺伝子	FAM/ Dark Quencher
インフルエンザウイルス B 型 (FluB) NS1 遺伝子	

● 形状 TE バッファー

● 保存 -20 $^{\circ}$ C

## ● 使用例

One Step PrimeScript<sup>™</sup> III RT-qPCR Mix, with UNG (製品コード RR601A/B) と組み合わせて使用する場合の例を以下に示す。詳細はリアルタイム PCR 試薬の取扱説明書を参照のこと。

### 1. 反応液調製

One Step PrimeScript III RT-qPCR Mix, with UNG (2 $\times$ )	12.5 $\mu$ l
Flu Primer/Probe Mix (10 $\times$ )	2.5 $\mu$ l
ROX Reference Dye II*1	0.5 $\mu$ l
滅菌精製水	7.5 $\mu$ l
RNA サンプル*2	2.0 $\mu$ l
Total	25 $\mu$ l

\* 1 : ROX で蛍光強度の補正を行うリアルタイム PCR 装置を使用する場合に添加する。不要な場合は、代わりに滅菌精製水を 0.5  $\mu$ l 添加する。

\* 2 : 精製 RNA を使用する。

### 2. PCR 条件

#### <逆転写反応>

(25 $^{\circ}$ C 10分)\*3  
52 $^{\circ}$ C 5分  
95 $^{\circ}$ C 10秒

#### <2 step PCR : 45 サイクル>

95 $^{\circ}$ C 5秒  
60 $^{\circ}$ C 30秒 (FAM/ROX\*4) 検出)

\* 3 : PCR 産物によるコンタミネーションが疑われる場合には、UNG 処理のため、25 $^{\circ}$ C 10分のステップを実施する。

\* 4 : ROX Reference Dye II を使用した場合に設定する。

## ● 使用に際して

Primer/Probe の配列内に遺伝子の変異や欠損/挿入が生じた際には、検出できない場合があります。(反応結果により発生する問題に関して、タカラバイオ株式会社は一切の責任を負いません。)

## ● 参考文献

- 1) アメリカ疾病予防管理センター (CDC)「Research Use Only CDC Influenza SARS-CoV-2 (Flu SC2) Multiplex Assay Real-Time RT-PCR Primers and Probes」
- 2) 中国 CDC「全国流感监测技术指南 (2017 年版)」

## ● 関連製品

Influenza virus Positive Control RNA (製品コード RC600A)

PrimeScript はタカラバイオ株式会社の商標です。

## ● 注意

本製品は研究用として販売しております。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。また、食品、化粧品、家庭用品等として使用しないでください。  
タカラバイオの承認を得ずに製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。  
ライセンスに関する情報は弊社ウェブカタログをご覧ください。  
本データシートに記載されている会社名および商品名などは、各社の商号、または登録済みもしくは未登録の商標であり、これらは各所有者に帰属します。

v202301Da

タカラバイオ株式会社

ウェブサイト <https://www.takara-bio.co.jp>

製品についての技術的なお問い合わせ先

テクニカルサポートライン

Tel 077-565-6999  
Fax 077-565-6995